

教材教具名	スケジュール	教科（特別活動 学校行事）	
-------	--------	---------------	--

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 行事に対しての簡単な見通しをもち、自分から活動に参加することができる。
- 2 発達段階など 一対一の対応、絵や写真を見る、言葉かけからシールを貼る
- 3 使い方
 - 事前に見ておく。
 - 会場にもって行き、終わる度にシールを貼っていく。
 - 事後に確認する。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

- 一つ一つの時間の長さが見通せず、不安な子どもには簡単な時間の単位を入れたり、コーピンググッズをもっていくことも必要だと思う。
- 毎回、同じようなスケジュールを提示することで、始業式や入学式などにも応用することができる。急な行事の変更に対しても、対応することができるようになる。
- 本人にとって分かることが一番であるので、写真やイラスト、文字など作り方はカスタマイズしてください。